

有機質と無機質肥料 の違い



どんな肥料をいつ、
どのように
与えたらいいの？

1. 肥料の種類

有機質肥料 (有機物)	植物・動物体が原料 堆肥、油かす、骨粉など
無機質肥料 (化学肥料 化成肥料)	植物の必要な栄養成分を 工場で化学的に生産したもの

※植物の栄養・三大要素※

チッ素 (N) : 木を作る葉肥 リン酸 (P) : 果実や花に効く実施肥
カリ (K) : 根の成長に効く根肥

石灰は土壌の酸性度を改善する。肥料の袋に“10-10-10”
とあるのはチッ素・リン酸・カリの量を表示

2. 肥料の効き方の早さ

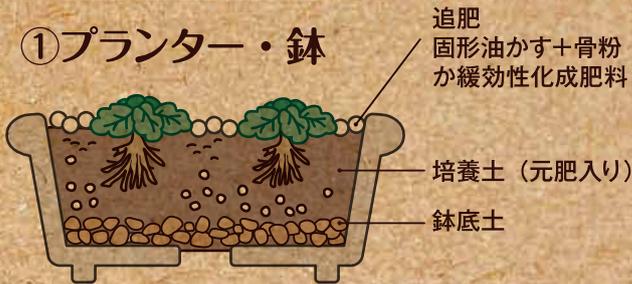
- ①遅効性：有機質肥料、腐ってから効く
- ②緩効性：無機質肥料の表面を被膜し、
水に触れると少しずつ溶け出す
- ③速効性：無機質肥料。水に溶けるとすぐ効く。
液体肥料は超速効性

3. 施肥時期

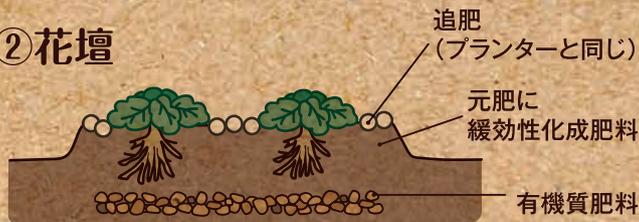
- ①元肥：植物が成長を始める前に与えておく
有機質肥料。緩効性化成肥料を代用することあり
- ②追肥：成育の途中で施す。宿寝草や樹木は花後・
収穫後にも施す。速効性化成肥料が望ましい

4. 施肥方法

①プランター・鉢



②花壇



③庭植の木



冬 (12月~2月) は…

元肥：有機質肥料を樹冠の外周部に幅 20cm 深さ~30cmの溝か穴を数ヶ所ほって投入する

追肥：化成肥料を春の芽出し肥え・夏の実肥え・秋のお礼肥えとして樹冠の下の地面にまく

(口)成木



5. 施肥量

◆プランター・鉢・花壇には肥料の袋に記載されている施肥量を参考にする

